

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。
研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は登録・参加を拒否することが可能です。
また、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

＜研究課題名＞

タキサン系抗がん剤による末梢神経障害の発現時期および累積投与量に関する研究

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部（研究責任者）椎田成美

＜研究期間＞

承認日～西暦 2020 年 3 月 31 日

＜研究の目的と意義＞

タキサン系抗がん剤の特徴的な副作用として、手足がしびれる末梢神経障害が起こることがあります。現時点では有効な予防法や治療法が無く、末梢神経障害が出現し進行すると日常生活への影響が懸念されます。また、タキサン系抗がん剤の投与を重ねるほど発症しやすいといわれていますが、具体的な発症時期は明確になっていません。末梢神経障害を予防する目的で抗がん剤投与中に手足を冷却したり内服薬を投与することがありますが、その予防効果についても明らかになっていません。

そこで本研究では当院にてパクリタキセル、ドセタキセル、アルブミン懸濁型パクリタキセルによる治療を受けられた乳がん患者さんを対象に、末梢神経障害が出現するまでの投与量や予防方法を模索することを目的としています。この研究により、乳がん患者さんが治療を選択する際の参考にいただいたり、タキサン系抗がん剤による治療をより安全に行っていただけることを期待しています。

＜対象となる患者さん＞

西暦 2014 年 1 月 1 日～西暦 2017 年 7 月 31 日の期間に当院でタキサン系抗がん剤（パクリタキセル、ドセタキセル、アルブミン懸濁型パクリタキセル）による治療を受けた乳がんの患者さんを対象としています。

＜研究の方法＞

皆様の診察時に得られる臨床検査値、使用薬剤などのデータを使用して研究を行います。末梢神経障害の発現率や発現時期について薬剤ごとの比較を行います。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

薬剤部

氏名: 椎田成美(しいだ なるみ)

電話: 03-3972-8111

内線: (薬剤部) 3012